

月刊 社会保険 5

2021 VOL.850

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

厚生労働省関係の主な制度変更(令和3年4月)について

日本年金機構からのお知らせ

令和3年4月から現物給与の価額が改正されました。

【事業主の皆さまへ】令和3年4月からの賞与支払届等に係る総括表の廃止及び賞与不支給報告書の新設について

【事業主の皆さまへ】子ども・子育て拠出金率について

厚生労働省における令和3年度の年金広報計画

オンライン資格確認等システムについて

アルコール健康障害対策推進基本計画[第2期](概要)

新連載/労働基準法の解説および実務のポイント 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス

新たな時代の働き方改革—ピンチをチャンスに変える職場づくり こしかわ しんじ 越川 慎司

ウェル ビーイング Well-Being イキキル社会をめざす 監修/一般財団法人一柳ウェルビーイングライフ・株式会社朝日エル あさひ

認知症を予防する④ しちさわ たくじ 白澤 卓二

厚生労働省関係の主な制度変更(令和3年4月)について	5
日本年金機構からのお知らせ	
令和3年4月から現物給与の価額が改正されました。	9
【事業主の皆さまへ】令和3年4月からの賞与支払届等に係る総括表の廃止及び賞与不支給報告書の新設について	10
【事業主の皆さまへ】子ども・子育て拠出金率について	11
厚生労働省における令和3年度の年金広報計画	12
オンライン資格確認等システムについて	14
アルコール健康障害対策推進基本計画[第2期](概要)	16
労働基準法の解説および実務のポイント 第1回 労働基準法とは	18
監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	
年金・健康保険委員活動報告 持続可能なまちづくり、企業とヒトの健康	20
株式会社丸西組顧問 藤原 正夫	
新たな時代の働き方改革—ピンチをチャンスに変える職場づくり	22
第1回 働き方改革することを目指してはいけない	越川 慎司
株式会社クロスリバー代表取締役社長	
書評 ヘンリー・マーシュ 著/大塚紳一郎 訳	24
「医師が死を語るとき—脳外科医マーシュの自省」	
Well-Being イキキル社会をめざす 第1回 人生100年時代、1人ひとりが自分らしく生きるために	25
監修/一般財団法人一柳ウェルビーイングライフ・株式会社朝日エール	
認知症を予防する④ 第1回 大豆・キノコ・エルゴチオネイン	28
お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36	
特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	
全社連INFORMATION	38
表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・編集協力・(有)フェイム/印刷・(株)エイエヌオフセット	

表紙のこぼれ——**竹内敏信** 「光の響」**「ノルウェーの初夏」** ノルウェー/ゲイロ郊外



4月号まで日本の花をテーマに構成した。5月号からは私が見てきたヨーロッパの風景を楽しんでいただければと思う。

ヨーロッパでは日本の風景とはまったく異なり、人々と共存している。そんなイメージがある。そのため自然だけではなく、街の風景や普段は避けている人工物を多く入れ撮影をしてきた。

このご時世では海外旅行は難しいと思う。その中で私の作品を見て、少しでも明るい気持ちになっていただければ幸いです。

持続可能なまちづくり、企業とヒトの健康



株式会社丸西組顧問
あしべまさお 蘆邊 正夫

●わがまち―石川県小松市―とは

日本列島のほぼ中心に位置し、都市としては日本海側で新潟市に次ぐ人口を擁する金沢市から車で三十分余り、J.Rや高速道路、そして国内有数の乗降客数と国際貨物取扱高を誇る小松空港を有するなど、北陸の玄関口としてヒト・モノの流通に貢献する石川県小松市。人口十万余人、世帯数約四・四万の小さな自治体ですが、古くから多様なモノづくり産業が発展し、世界的な建機メーカーやパーテーション・電子部品・バスなど日本有数のメーカーが存在します。

一方で、日本三名山のひとつ「白山」を望み、日本海にも面する恵まれた自然環境は、農林水産業を豊かに育み、文化的にも「歌舞伎のまち」として全国的に広く知られています。

近年は、北陸新幹線の金沢―敦賀延伸が当初予定より遅れることとなりましたが、大阪まで全面開通のあかつきには、さらなる地域振興が期待されています。

●丸西組七十年のあゆみ

一九四九(昭和二十四)年創業の当

くかつ重要になると思います。委員会は今後も、関係機関とより緊密な連携を図りながら、会員各位の研修・交流の場として、積極的に事業を推進していきます。

●健康経営への取り組み

近年、医療・福祉などを中心に社会保障費が膨れ上がり、国民の負担増をはじめとするさまざまな問題が深刻化しています。

一人ひとりの健康は、もはや自己責任というにはあまりに無責任であり、地域・企業が個人の健康維持・予防などへ関与することは、必要不可欠です。企業として、事業の安定的な運営推進のためにも、健康経営には積極的に取り組む必要があると受け止めています。

文字どおり「企業は人なり」、現在の働き方改革の中心には従業員の「心身の健康」があると考えます。そこで、法定の定期健康診断においては、これまで結果報告の内容とりまとめまでを業務であると捉えてきましたが、これを二〇一九年度よりあらため、受診率一〇〇%の達成を掲げるとともに、有所見者全員に対する再検査・改善指導の実施を会社がサポートすることとしました。

社は、戦後復興を支える土木工事・社会インフラの構築・整備などを担う事業者として誕生。防災や災害復旧といった事業に加え、約三十年前には建築事業へも参入を果たし、「誠実・信用・和」を社訓に掲げる地域ゼネコンです。

現在は、土木・建築の両工事で高い施工能力と実績を有し、県内屈指の総合建設業として安全で安心・快適なまちづくり、便利で住みよいまちづくりに貢献しています。

また一九九九(平成十一年)年には介護付有料老人ホームやデイサービスを運営する老人介護福祉事業と、二〇〇三(平成十五年)年には橋梁・下水道など環境インフラの補修補強工事を請け負う事業を相次いで設立し、これらグループ事業の総力をもって広く地域を支えています。

二〇一九(平成三十一年)年九月に迎えた創業七十周年を機に、社長交代を含む大掛かりなブランディング再構築にも取り組み、新たなコーポレート・メッセージとして「こころで創る豊かなまち 輝くみらい」を社内外へ向け発信。

わたしたちの建設技術は、一人ひとりが主役で一人ひとりが「生きがい」を持つことができる、そんな社会を創るための技術だと考えています。

「SDGs宣言企業」の認定を開始するにあわせ、一番に宣言・申請し、認定を受けたのです。

主な取組内容は、次のとおりです。

―取組みの内容―
GOAL5 ジェンダー平等を実現しよう

『いしかわ男女共同参画推進宣言企業』二〇一五(平成二十七年)年三月認定

二〇二〇年三月 女性活躍加速化クラスにグレイドアップ認定
GOAL11 住み続けられるまちづくりを

地域・近隣の清掃美化活動「美化ピカ隊活動」を展開(年二回/春秋)
GOAL13 気候変動に具体的な対策を

石川県「企業の森づくり推進事業」里山保全活動に参加(年二回/春秋)

「丸西の森」活動と称し、CO₂吸収削減に貢献
県知事より「CO₂吸収証書」の交付を受けています。

創業以来豊かな地域づくりに建設技術(土木・建築)で貢献し、特に人々の暮らしのために欠かせないライフラインや自然災害に強い環境づくりに技術を発揮していくこと、地震や豪雨豪雪などに強い、持続可能なま

●社会保険委員として…

石川県内には、七尾・金沢北・金沢南・小松と四つの社会保険委員会があり、私が所属している小松社会保険委員会は、小松市・加賀市・能美市・石川郡川北町に事業所がある年金委員と健康保険委員で構成されています。

当委員会では、会員各位の資質向上と相互連携を主な目的とし、研修会を充実させることに重点をおく活動を行っています。

具体的には、年金制度の現状を理解してもらうことを主眼とした年金セミナーやヨガストレッチなど実際にカラダを動かしながら健康知識や意識の向上を図るための研修会を年に三〜四回程度開催しています。

残念ながら昨年は、コロナ禍のため活動が制限されてしまいました。今後は内容を工夫し、しっかりと対策を講じながら、研修会の開催が途切れることのないようにすることが大事であると考えています。

さて、少子高齢化の進行は、社会保障制度の支え手である現役世代の減少など、わが国の社会保障事業を取り巻く諸事情に、大変厳しい状況をもたらしています。こうしたときこそ、年金委員・健康保険委員および社会保険委員会の果たす役割は、ますます大き

ちづくりのため、さらに地域に資する企業活動を追い求めていこうとするものです。

●おわりに

最後になりますが、年金事務所・協会けんぽ・社会保険協会など関係機関の皆様、ならびに全国の年金委員・健康保険委員の皆様がますますの御健勝と御多幸を祈念申し上げます。御健康活動報告とさせていただきます。

(小松社会保険委員会会長 石川県社会保険委員会連合会副会長)



株式会社丸西組